

令和 6 年度予定している支援教育充実事業について

令和 6 年 3 月 1 3 日  
令和 5 年度第 3 回箕面市支援教育充実検討委員会

# 1. 学びの場の充実について

## 1 通級指導教室の利用者が多い学校へ複数名の通級指導教室担当教員を配置

- ・令和5年度に、通級指導教室を全校に設置が完了し、通級指導教室の利用を希望する児童生徒数が増加しました。
- ・令和6年度については、通級指導教室の利用者数が多い学校に、複数名の通級指導教室担当教員を配置する予定です。

## 2 支援教育支援員の配置について学びの場を変更した児童生徒数を考慮

- ・令和5年度に、校内でサポートを必要とする児童生徒の支援を行うため、全ての「支援教育介助員」を「支援教育支援員」に移行し、環境整備を行いました。
- ・「支援教育支援員」の配置については、サポートを実施する優先順位の高い、『支援学級に在籍する児童生徒数』を配置基準としていましたが、令和6年度については、『支援学級から通級指導教室や通常学級に学びの場を変更した児童生徒数』についても考慮し、「支援教育支援員」を配置します。

## 2. 教職員の在り方について

### 1 研修の充実(令和5年度)

- ・令和5年度に、通常学級、教科担任向けの支援教育研修や学校管理職など様々な教職員に向けた研修を実施しました。

#### 《令和5年度 研修概要》

- ・支援教育研修(多層型支援・ポジティブ行動支援・自立活動・授業のユニバーサルデザイン)
- ・通級指導教室担当者養成研修
- ・支援教育コーディネーター養成研修(応用行動分析学の視点を取り入れた校内支援体制づくり)
- ・学校管理職研修
- ・支援教育担当者会の年間計画に位置づけた支援教育研修
- ・医療的ケア対象児童生徒の理解啓発研修
- ・支援教育(看護)支援員研修
- ・支援学級保護者会向けの研修

## 2. 教職員の在り方について

### 2 研修の充実(令和6年度)

令和6年度については、継続して研修を実施し、支援教育をより推進できるようニーズに応じた研修を実施します。

#### 《研修の具体例》

- ・ 受講対象者を絞った研修会を実施し、研修の学びを実践により生かすことをめざす。
- ・ 障害種別に応じた教育課程を編成し、支援学級の授業の充実をめざす。
- ・ 支援教育コーディネーター養成研修を開催し、各校の校内支援体制の充実をめざす。

#### 《令和6年度 研修概要》

##### ◆支援教育研修（4テーマ）

A：支援教育専門研修（自立活動等）

B：通常学級の支援（学びのユニバーサルデザイン等）

C：多層型支援の充実(スクールワイドポジティブ行動支援等)

D：支援教育コーディネーター養成研修(愛着に課題が見られる児童生徒への対応等)

##### ◆支援教育専門研修：①障がい種別に応じた授業づくり研修(自立活動も含む)

②通級指導教室担当者養成研修

③支援教育(看護)支援員研修

④学校管理職研修

##### ◆その他：支援学級保護者会向けの研修(支援教育への理解啓発等)

## 2. 教職員の在り方について

### 3 特別支援学校教諭免許取得の費用サポートを継続

- ・令和5年度に、支援教育コーディネーターに対し、支援教育の専門性の向上を図るために、特別支援学校教諭免許を取得するための費用をサポートし、全校に必ず特別支援学校教諭免許を取得している教員を配置する環境整備を実施しました。
- ・令和6年度についても、特別支援学校教諭免許を取得している教員の人事異動を考慮し、特別支援学校教諭免許を取得するための費用をサポートを継続します。

### 4 府立支援学校への派遣研修に府立箕面支援学校も追加

- ・令和5年度に、支援教育の専門性の向上を図るために、府立豊中支援学校に派遣研修を実施しました。
- ・令和6年度については、府立豊中支援学校に加えて、新たに府立箕面支援学校も派遣研修先に追加する予定です。

## 3. その他

---

### 1 一般社団法人UNIVAとインクルーシブな学校づくりのための取組（予定）

- ・ 箕面市内の1～2校をモデル校として選定し、一般社団法人UNIVAと共同し、インクルーシブな学校づくりを目指し、「学校づくり」「学級づくり」「授業づくり」など様々な観点で、具体的な手立てを検討していく予定です。
- ・ 一般社団法人UNIVAからは、定期的なコンサルテーションや複数回の訪問を実施していただく予定です。  
加えて他の自治体とも合同研修などを予定しています。